

製品名: TNNI3K ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19105**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	TNNI3K
別名	TNNI3K; CARK; Serine/threonine-protein kinase TNNI3K; Cardiac ankyrin repeat kinase; Cardiac troponin I-interacting kinase; TNNI3-interacting kinase
遺伝子 ID	51086.0
SwissProt ID	Q59H18
免疫原	抗血清はヒト TNNI3K 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

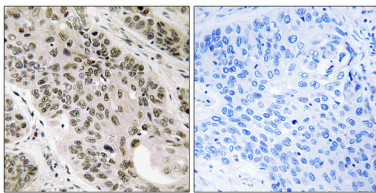
この遺伝子は、MAPキナーゼキナーゼキナーゼ（MAPKKK）ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質

は、アンキリンリピート、タンパク質キナーゼ、およびセリンリッチドメインを含み、心臓生理において役割を果たしていると考えられています。[RefSeq 提供、2012年9月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。触媒活性: GTP + β -L-フコース 1-リン酸 = ニリン酸 + GDP-L-フコース。補因子: マグネシウム。機能: GTP と L-フコース 1-リン酸から GDP-L-フコースの形成を触媒します。糖タンパク質と糖脂質の代謝回転から生じる L-フコースを再利用するためのサルベージ経路として機能する。機能: 心臓生理学において役割を果たす可能性がある。PTM: 自己リン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 10個の ANK リピートを含む。細胞内局在: 細胞質内で低レベルで発現する。サブユニット: TNNI3、ACTC、ACTA1、MYBPC3、AIP、BABP3、および HADHB と相互作用する。組織特異性: 多くの組織で発現する。組織特異性: 成人および胎児の心臓の両方で高発現する。、

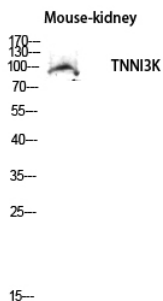
研究分野

フルクトースおよびマンノース代謝;アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;

画像データ



TNNI3K 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNNI3K 抗体を用いたマウス腎臓溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。